

第24回
太陽地球惑星系科学シミュレーション分科会

日時: 11月3日(水) 12:45～13:30

場所: D会場

代表幹事: 三好 隆博、陣 英克、加藤雄人、三宅洋平、
松本洋介、深沢圭一郎、簗島 敬、梅田 隆行

波動分科会・粒子加速研究分科会との合同開催

話題 (敬称略)

1. 3学会合同セッションについての現状と今後の方針 (松本)
2. ISSSについて (臼井)
3. 第四世代地球シミュレータのチャレンジ利用課題 (簗島)
4. 名大ISEE計算機利用共同研究(一般)について (梅田)
5. 国際会議ICNSPについて (渡邊)

3学会合同セッションの 現状報告と今後の方針

SGEPSS世話人

松本洋介（千葉大）、松清修一（九大）、
銭谷誠司（神戸大）、中村匡（福井県立大）

経緯・今後

- 物理学会（領域2）、天文学会、SGEPSSの3学会。それぞれの学会での特別セッションとして企画。2005年から始まり、計10回開催。毎回100名近くの参加者だが、近年は減少傾向、参加者の固定化の問題。
- 現在の他学会世話人代表
 - 物理学会：佐野孝好（阪大）
 - 天文学会：鈴木健（東大）
- 4巡まで開催合意。次回は、4巡目、SGEPSS主催。
- COVID-19禍中の開催について、各学会世話人で定期的に相談しており、会議の主旨から現地開催できるまで開催を見送る方針。一方、前回の開催からだいぶ間が開いており、タイミングを計っている。
- これまでJpGUで開催してきたが、他学会と比べて参加費が高額なため、秋学会での開催（合意済）を念頭に調整中。

	開催学会
第1回(2005.3)	日本物理学会60回年会
第2回(2006.5)	地球惑星科学連合大会
第3回(2007.9)	日本天文学会秋季年会
第4回(2009.3)	日本物理学会64回年会
第5回(2010.5)	地球惑星科学連合大会
第6回(2012.3)	日本天文学会春季年会
第7回(2013.3)	日本物理学会68回年会
第8回(2014.5)	地球惑星科学連合大会
第9回(2016.3)	日本天文学会春季年会
第10回(2018.3)	日本物理学会73回年会
第11回(2022.11) (予定)	SGEPSS総会・講演会 (予定)

話題 (敬称略)

1. 3学会合同セッションについての現状と今後の方針 (松本)
2. ISSSについて (臼井)
3. 第四世代地球シミュレータのチャレンジ利用課題 (簗島)
4. 名大ISEE計算機利用共同研究(一般)について (梅田)
5. 国際会議ICNSPについて (渡邊)

ISSS-14準備状況

現状：2年延期して2022年の夏期に対面での開催予定

神戸側の準備状況

- ・ 日程予定：2022/9/8（木曜）-9/11（日曜）（スクール）
9/12(月曜) - 9/16(金曜)（シンポジウム）
- ・ 来年度の国際会議開催助成を各種団体に申請中
- ・ 近いうちに実行委員会を開催して仕切り直し
 - 開催時期、実施方法、スケジュールなど
- ・ 組織委員会と相談、1st announcement送付

実施方法の最終判断はいつ。

- ・ コロナ感染状況（国内外）、
- ・ 海外渡航状況（フライト、隔離状況、ビザ）

スクール用若手参加者宿舍の確保

ハイブリッド開催の是非

話題 (敬称略)

1. 3学会合同セッションについての現状と今後の方針 (松本)
2. ISSSについて (臼井)
3. 第四世代地球シミュレータのチャレンジ利用課題 (簗島)
4. 名大ISEE計算機利用共同研究(一般)について (梅田)
5. 国際会議ICNSPについて (渡邊)

地球シミュレータ「チャレンジ利用課題」について



令和3年度地球シミュレータ機構戦略課題「チャレンジ利用課題」の募集について

以下のとおり、地球シミュレータ機構戦略課題「チャレンジ利用課題」の募集を開始いたします。
 機構戦略課題「チャレンジ利用課題」は、挑戦的な利用や大型計算機の利用推進等による利用を目的として、機構の内外を問わず募集※するものです。

※機構外からの利用課題は機構職員のカウンターパーソンが必要です。

「チャレンジ利用課題」で募集するテーマ、応募手続き等については下記募集要領にてご確認ください。

応募受付期間 随時

● 利用できる研究テーマ

- 新規研究…翌年度以降に公募課題への応募を検討するための試行的計算
- 人材育成…計算機利用に関する若手育成
- 大規模計算
- 短期集中計算
- 緊急的な計算を実施する課題

● 応募の際は機構職員にご一報ください

計算機ノード種別	CPUノード	VE搭載ノード	GPU搭載ノード	
ノード数	720	684	8	
ノード単体	CPU名	AMD EPYC 7742		
	CPU数(コア数)	2(128)	1(64)	2(128)
	OS	CentOS 8		
	メモリ容量(ホスト)	256GiB	128GiB	4TiB
	アクセラレータ	-	NEC SX-Aurora TSUBASA Type 20B	NVIDIA A100
	アクセラレータ数	-	8VE (VEあたり8コア)	8 GPU
	メモリ容量 (アクセラレータあたり)	-	48GiB	40GiB

話題 (敬称略)

1. 3学会合同セッションについての現状と今後の方針 (松本)
2. ISSSについて (臼井)
3. 第四世代地球シミュレータのチャレンジ利用課題 (簗島)
4. 名大ISEE計算機利用共同研究(一般)について (梅田)
5. 国際会議ICNSPについて (渡邊)

ISEE 計算機利用共同研究(一般) R4年度からの変更点

- 基盤センター利用料の高騰に対応

- ✓ 消費ポイントの増加(0.002⇒0.0056 ポイント/秒:R2より)

- ✓ ポイント代(電気代基本料金)の高騰(200万⇒125万ポイント/100万円)

※1口=10,000ノード時間=104ノード日

	R3年度	R4年度より
一般	基盤センター(100万円)	CIDASシステム
HPC	基盤センター(200万円)	基盤センター(300万円の予定...)
全口数(申請/採択)	20/6口	10/10口
各課題の口数(申請/採択)	2/0.6口	1/0.5~1口

- CIDASシステム利用による制度の変更

- ✓ 利用資源の制限は実質なし(資源が空いている限り)

- ✓ 課題ごとのアカウント申請数の制限なし(申請前にCIDASアカウントを取得のこと)

- ✓ 博士(後期)課程の大学院生の申請を可とする

- ✓ 一般とHPCとの重複採択を可とする(システム構成が異なるため)

- ✓ 随時、申請を受け付ける(現在のCIDASシステムの運用と合わせるため)

ISEE 計算機利用共同研究(一般) R4年度からの変更点

- 申請方法等の変更
 - 申請：ISEEのHPより様式をダウンロードし、事務にメールで提出
 - * 申請は年度ごと、随時受付、CIDASアカウントを事前に取得すること
 - 報告：ISEEのHPより様式をダウンロードし、事務にメールで提出（締切3/31）
- CIDASシステム利用の運用形態の変更

ジョブ形態	ノード数	R3年度申請方法	R4年度からの申請方法
共有 - IDL, Python (interactive) - 26スレッド以下の小規模スレッド並列	2 2	CIDASへ申請	CIDASへ申請
占有 - MPI並列(最大4ノード) - 52スレッドの大規模スレッド並列	12	CIDASへ申請	共同利用へ申請

1.5TB（4ノード）を超えるメモリを使う大規模ジョブを走らせたい場合は名大HPCへ応募してください（重複採択OK）

話題 (敬称略)

1. 3学会合同セッションについての現状と今後の方針 (松本)
2. ISSSについて (臼井)
3. 第四世代地球シミュレータのチャレンジ利用課題 (簗島)
4. 名大ISEE計算機利用共同研究(一般)について (梅田)
5. 国際会議ICNSPについて (渡邊)

International Conference on Numerical Simulation of Plasmas : ICNSP 2022

- 第27回ICNSP : 2021年9月に神戸での開催計画 => 2022に延期
- ICNSP 2022 :
 - 会期 : 2022年8月30日から9月2日
 - 会場 : 名古屋大学 坂田・平田ホール (対面不可の場合オンラインへ)
 - Announcementを近々発送
 - Plenary talk, Invited talkを募集
 - 日本からのPCメンバー : 天野さん、陰山さん、渡邊
 - プラズマ・シミュレーション手法だけでなく、宇宙・天体・核融合プラズマへのアプリケーションも
 - コロナ禍での簡略化された形を模索中

分科会ウェブページ:

<https://cidas.isee.nagoya-u.ac.jp/simulation/>

分科会メーリングリスト

simulation@isee.nagoya-u.ac.jp

MLへの参加を希望する方は

<https://portal.isee.nagoya-u.ac.jp:8443/mailman/listinfo/simulation>
にアクセス(分科会HPにリンクがあります)

もしくは、幹事会(spsim@isee.nagoya-u.ac.jp)まで御連絡ください。